



2021-22 年度テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報

■会長	保田 孝司
■幹事	岡崎 利久
■SAA	小栗 学
■クラブ奉仕委員長	有田 裕彦
■職業奉仕委員長	池 和明
■社会奉仕委員長	筒井 大八
■国際奉仕委員長	増田 博和
■青少年奉仕委員長	二神 雅彦

■例会日	: 毎週木曜日 12:30~13:30
■例会場	: 宿毛市幸町 秋沢ホテル
■事務所	: 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
	TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
URL	: http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/
E-Mail	: sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2738回 令和3年12月16日(木曜日) 天気: 雨

■例会司会: 高瀬副 SAA
 ■開会点鐘: 保田会長
 ■Rソング: 奉仕の理想
 ■お客様: 東邦彦様 (ガバナー)
 井上克彦様 (中村 RC 会長)
 嶋村晃様 (中村 RC 幹事)

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 保田会長

本日は東ガバナー、会長幹事様お越しいただきまして、誠にありがとうございます。

この後約2年ぶりの忘年会でございます。コロナコロナで自粛気味でしたが、1か月以上感染者がいないということで安心しておりましたが、変異株も出てきていますので、油断しないようにしたいと存じます。

■幹事報告 岡崎幹事

■ガバナー事務所より:

・RI 会長杯ワールドゴルフ大会のお知らせ

■宿毛マラソン実行委員会より

・宿毛マラソン実行委員会第二回総会の開催について

■宿毛警察より

・令和3年宿毛警察署管内被害者支援連絡協力会総会のご案内

欠席届 6名

■プログラム 有田委員長

ガバナー公式訪問 東ガバナー



皆様こんばんは、2760地区ガバナーの東でございます。本日で72のクラブを訪問いたしました。全てのクラブがそれぞれの歴史を持っており、再認識を

しています。

ロータリーの中で、私の年度は100年の年度になっています。100年といましてもいろいろな100年となっています。御クラブの場合は57年となっていますが、60年近くの歴史を持つクラブではガバナー補佐を2~3人出していることが多いです。この輩出と57年の歴史にプライドを持っていただきたいと思えます。このプライドが増強に影響を与えます。100年の間私たちは何をしてきたのか?日本のロータリーはポールハリスの理念とかなり合致しています。それは新旧会員の交流の場である例会を重んじることです。情報の交換場所でもあり、新しいロータリアンを育てる場でもあります。これら二つのことが例会の意義であるわけです。それらにより、親睦を培い、一方で奉仕の心を持つことが大事なのです。奉仕という言葉は近年若い人々にはわかりにくい言葉になっています。サービスと訳されますが、80%の方々は社会貢献として認識しています。奉仕と親睦この両輪により100年の歴史を支えてきたわけです。

ポールハリスは地域社会について、地域社会こそロータリーであると述べています。例えばポリオについて、パキスタンで1件ありましたが全世

界で4件となりました。1985年から始めたこの活動は莫大なお金をかけてきましたが、かなり収束してきたわけです。

ロータリーとは自分磨きの旅です。その旅とは自分を磨いて、職業を磨いて、地域社会にそして国に、さらには世界に向けて力を発揮することなのです。



遵奉性や理解力を求められていたクラブ運営から、クラブの魅力を生かした多様性を尊重するスタイルに変わってきました。つまり、親

睦、奉仕、多様性、リーダーシップ、高潔性などがロータリー活動の柱になってきていると思われれます。RIから見ますとジェニファージョーンズさんという女性会長が就任することになりました。コロナによって120万人の会員でした。日本は8万4000人です。女性が占める割合は世界平均が24%、国内が7%となっています。

ロータリーの重要項目で、環境保全もハイライトされています。清掃活動、有機農業など全てロータリーのグローバル補助金の対象になります。



もう一つの動きが青少年です。青少年交換というものがありますが、日本の34地区が全てやっています。RIの指示で2年間止まっておりましたが、今年の年度からリスタート

となりました。出入国でむつかしい問題がありますが、ライジェムという組織と関係しておこなっておりますが、パンデミック、ハラスメント、自然災害の問題などに対する保険の取り扱いがむつかしくなっています。ライラなどの基準にも上記の基準は厳格になってきております。心の内部にまで至るこういった問題は青少年交換問題においても重要な条件となっています。そういった中で、御クラブについては増強問題があるようですが、『増』というのは一名増えること、『強』というのは歴史などを知らしめて共有することです。この二つが揃わないと成り立たないことで入会された後での新入会員ケアを丁寧に行うことが大切です。

長い歴史のあるクラブですので、ぜひ前を向いてクラブ活動に励んでほしいです。

■バナー交換



■ニコニコ

東ガバナー

5,000円

■出席報告

52.00%

■忘年会

